

# 学びと誇りが実感できるまち

～深い学びの実践を！～

令和元年 9月号

庄原市教育委員会  
教育長 牧原 明人



肩に来て人懐かしや赤蜻蛉 (夏目漱石)

先月も庄原の子供たちが多くの大会や行事に積極的に参加し、それぞれの目標に向かって活躍している姿がありました。いくつか紹介しますと、中国綿陽市訪問交流（小中学生7名）、図書館での子供司書研修（小学生14名）、中国中学校卓球選手権大会（庄原中女子チーム）、イングリッシュキャンプ（中学生28名）、備北地区中学生意見発表大会（中学生15名）などです。今後も、新しい学びや体験を通して、また練習や努力の成果を発揮する機会などを通して大きく成長してほしいと思います。

さて、今回は、本年度の全国学力・学習状況調査結果についてです。平素から学校では「深い学び」につながる授業づくりの取り組み、家庭では自己学習の習慣化を図る取り組みなどを継続して行ってきましたが、調査結果をみると昨年度に続きずいぶんその成果をみることができます。

【平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果（平均正答率）】 (%)

教科	小学校（第6学年）		中学校（第3学年）		
	国語	算数	国語	数学	英語
庄原市	68	69	76	61	57
広島県	66	68	74	60	56
全国	63.8	66.6	72.8	59.8	56.0

庄原市の調査結果については、小中学校ともにすべての調査教科において、平均正答率が広島県平均、全国平均を上回っています。子供たち自身の頑張りや各学校の指導方法の研究などによって、子供の学習意欲・関心が高まり、一生懸命勉強する姿勢ができつつあることが、良い結果に結び付いてきています。

一方、調査結果からの課題としては、各教科とも問題を読み取る「読解力」や自分の考えをまとめ「文に書いて説明する力」などに課題があります。また、今回から実施された英語については、英語文を聞いて把握した内容に、的確に対応する力が不十分になっている場合が多くありました。

明らかになった課題については、今後も学校でも家庭でも工夫した勉強ができるよう取り組みを進めていきたいと思っています。